

「市民の声」提案箱制度の運用状況

平成31年1月から平成31年3月までに「市民の声」提案箱へお寄せいただいたご提案等の状況をお知らせします。

平成31年1月～31年3月受付分

合計：6件(内訳 提案箱1件、ホームページ等5件)

次ページからは、お寄せいただいたご提案等の概要や一部内容をご紹介します。

「市民の声」提案等の受付・処理簿

番号	受付日	方法	提案の概要	対応内容・市の考え方	担当課
1	1/4	提案箱	<u>資源ごみの回収について</u> 資源ごみは月に2回の回収ですが、家の中でプラスチックごみを貯めておくのは大変なので、毎週回収してもらえないでしょうか。	資源ごみ(プラスチック製容器包装・ペットボトル)の収集回数に関しては、平成29年度より従来の月2回から月2〜3回とさせていただいたところですが、収集運搬のコスト面を考慮し、現行の回数にしております。 プラスチック製容器包装等につきましては、かさばる場合は押しつぶすなどして容積を減らしてお出しくさるよう、ご理解、ご協力をお願いします。	生活環境課
2	1/16	メール	<u>保育料について</u> 現在、小学校1年生、年中、1歳 の子どもがいます。1年生の子は放課後は学童保育、あとの2人は保育園に通っていますが、保育料がとてもきついです。 近隣の市では上の子の年齢に関わらず第2子は保育料が半額に、第3子は無料になるようです。なんとか近隣市の保育料と同等にならないでしょうか。	保育料は国が定める上限額の範囲内で市町村が独自に決定します。高石市でも年収約360万円以下の世帯については年齢制限に限らず第2子の保育料を半額に、第3子を無料としています。また、2019年10月から幼児教育無償化が実施される予定で、無償化によって保護者様のご負担が更に軽減される場合がございます。制度の詳細等については改めてお知らせする予定ですので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。	子育て支援課
3	1/21	メール	<u>空き家対策について</u> 空き家対策で諸々の補助金制度が設けられていますが、平成に入ってから新築された比較的新しい戸建やマンションが空き家バンクに登録され、補助金の対象となっているようです。 本来、空き家とは老朽化等により数年間空き家の状態になっている物件をイメージするため、平成10年代に新築された綺麗な戸建やマンションは対象外とし、築30年以上の空き家のみを制度の対象にしてはどうでしょうか。	本市においても、少子高齢化が進み人口減少傾向にあり、空き家も多く存在している状況です。 現在、人口減少に歯止めをかける定住促進策として多くの制度が創設され実施しているところですが、ご提案のありました空き家対策補助金につきましても、市内に多く存在する空き家の利活用を促進するための施策であり、また定住促進策のひとつであります。築年数の浅い空き家であっても、そのまま放置されると地域に悪影響を及ぼします。空き家の利活用が進めば地域の活性化が図られ、また防犯や防災面も改善されるものと考え、空き家バンク登録物件の築年数については制限を設けておりませんので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。	建築住宅課

4	2/25	メール	<u>小・中学校の学力の差について</u> 市内に中学校が３校ありますが、学力の差があると耳にしました。アンバランスにならないよう、どこの学校に行っても同等のレベルになるように授業にならないでしょうか。	市教育委員会としましては、中学校のみならず小学校も含めた全ての学校において、教員の研修や授業改善に係る取組みについて、同様に実施しております。 今後も、全ての小・中学校に通う子どもたちが、より良い授業を受け、それぞれの学びを伸ばしていけるよう努めてまいりたいと考えております。今後も本市の学校教育にご理解、ご支援賜りますようお願いいたします。	学校教育課
5	3/11	メール	<u>カモン高石の女子トイレについて</u> 女性トイレの個別の汚物入れが小さすぎます。スポーツ施設なので、生理時には大きいサイズのナプキンを使いますが、現状の物では1回分程しか入りません。災害時の避難所として考えると大勢の人が使うには尚更小さいため、手で蓋を触ることなく開閉する大きいタイプの物に変えられないでしょうか。	いつもご利用有難うございます。この度はご利用に不便をお掛けし、大変申し訳ございません。 現在もスタッフ巡回を定期的の実施しておりますが、利用者数に合わせ、汚物入れチェックを強化させて頂きます。また、貴重なご意見として、次回備品入替時にはサイズ、開閉方法を見直して参ります。	社会教育課
6	3/18	メール	<u>入学後の学校給食について</u> この４月に小学校に入学予定の子どもがいます。入学準備を始める中で、新一年生は４月半ばまで給食を食べず昼までに下校することを知りました。新しい生活に慣れるまでは短時間で帰宅する方が、子どもにとってはいいことかも知れませんが、共働きの家庭では毎日弁当を持たせる負担は相当なものです。 給食を食べてから帰宅するよう、ご検討いただけないでしょうか。	新入生については、学校生活に慣れていただくことも考慮し、4月中旬から給食を実施しておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。なお、いただきましたご意見は貴重なものとして受け止めさせていただきます。	教育総務課